

大阪赤十字病院 小児科専門研修プログラムに興味を持っていただき、ありがとうございます。ここでは、当科の専門研修プログラムについて、実際はどのようなことができるのか、どのような採用か、どのような雰囲気か、生の声をご紹介しますと思います。気軽に覗いてみてください！



* 専門分野

当院では様々な専門分野を扱っています。

- 血液/腫瘍
- アレルギー
- リウマチ/免疫
- 神経疾患
- 腎臓疾患
- 新生児/未熟児
- 内分泌・代謝疾患（非常勤の専門医にて週1回外来あり）
- 循環器疾患（他院派遣の小児循環器専門医にて週1回外来あり）
- その他：消化器疾患、呼吸器疾患など

当科には血液/小児血液、アレルギー、神経、新生児の専門医がいます。それぞれの分野の専門がいるので、指導体制が手厚いです。その他の疾患も皆経験豊富で、適宜小児外科、整形外科、脳外科、耳鼻咽喉科、形成外科、腎臓内科、消化器内科等の他科と連携をとって幅広く診療しています。透析や入院治療の必要な心疾患以外は殆ど当院で治療しているので、小児科専攻医として経験すべき疾患はしっかりと経験することができます。小児外科もあり、常にオンコール待機していただいているので、手術が必要な症例も当院で対応できる点が魅力の一つです。

一般感染症等のcommon diseaseはもちろんのこと、近年の珍しい症例としては、

- 酵素補充療法対象の代謝異常症
- 原因不明の脳炎脳症、脳出血や脳梗塞（脳外科と併診）
- 挿管管理を必要とする喘息大発作や肺炎・細菌性髄膜炎

等があります。色々な疾患を幅広く主治医として見てみたい方、おすすめです！

また救急外来における小児科年間受け入れ件数は3718件(2025年1月～12月)と非常に多く、様々な救急疾患に対応できるようになります。

- 痙攣重積やアナフィラキシー
- ボタン電池誤飲に対するマグネットカテーテル除去術
- 腸重積の非観血的整復術や精巣捻転の初期対応
- 気管支喘息大発作
- 薬物中毒
- 敗血症や髄膜炎、ショック（まれにCPA）

基本小児科専攻医1人が救急外来を担当しますが、NICU当直医が常に1人当直しているため、いつでも気軽に相談できとても安心できる環境です！

* 採用情報

今年度・過去の採用情報及び、出身大学、研修終了後の専門分野の内訳です。

2026年度

専攻医 7人

3年目 2人(内2外0)

2年目 2人(内1外1)

1年目 3人(内1外2)

※過去の採用情報

2018年 3人(内2外1)

2019年 2人(内1外1)

2020年 3人(内2外1)

2021年 3人(内0外3)

2022年 2人(内0外2)

2023年 3人(内2外1)

2024年 3人(内3外0)

2025年 2人(内1外1)

2026年 3人(内1外2)

出身大学

京都大学12人、奈良県立医科大学2人、

東京医科歯科大学1人、金沢大学1人、

大阪医科薬科大学2人、大阪公立大学1人、

鳥取大学1人、香川大学2人、愛媛大学1人

久留米大学1人、広島大学1人

研修終了後の専門分野

新生児、代謝内分泌、循環器、免疫、

神経、血液/がん、アレルギー、PICU

AI医療、訪問/在宅

内：当院で初期研修をした人

外：当院以外で

初期研修をした人

* 3年間のスケジュール

研修スケジュールの1例です！

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	一般小児病棟研修											
2年目	NICU研修						一般小児病棟			大手前整肢学園での研修		
3年目	連携施設での研修			一般小児病棟研修（専門医後の進路も踏まえて臨機応変に対応）								

- ・1年目はまず**はcommon diseaseの対応**をしっかりと学びます！チーム制なので上級医に相談しやすいです。たまに重症例も・
- ・2年目は**NICUを半年間**研修します。300gの超低出生体重児も産まれます！3カ月は隣接している**大手前整肢学園という重症心身障害児施設で研修**します。いろんな背景疾患を持った子どもたちのsick dayの対応も学ぶことができ非常に勉強になります。
- ・3年目はいよいよ連携施設での研修！3カ月～半年間希望に沿って下記の施設から選択できます。当院にはない**PICUの研修**も可能！日赤に戻ってきたら次の進路に向けて専攻医ラストサポートです！

京都大学医学部付属病院、兵庫県立こども病院、静岡県立こども病院、大和高田市立病院
天理よろづ相談所病院、済生会中津病院、滋賀県立総合病院、JCHO大和郡山病院

* 専攻医の1日

専攻医1年目の1日の一例です！

8:30

回診・治療方針が悩ましい症例はチームで相談

担当している患者さんを自分で回診！治療方針が悩ましい症例は気軽に相談できる環境です！

9:00

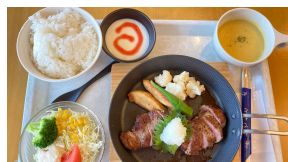
病棟業務
救急受診当番や食物負荷試験・成長ホルモン負荷試験など

病棟業務はもちろんですが、予約外受診や救急受診当番、負荷試験など日によって当番制になっています！

12:00

お昼ごはん

職員食堂の日替わり定食が400円ですごくおいしい！スペシャルメニューにはローストビーフやステーキも！



13:00

入院が決まった症例が主治医に！

主治医の担当症例数が偏らないように入院が順番に当たる仕組みになっています！

14:00

毎週月曜は病棟回診

みんなで回診！
担当外の症例も勉強できる！

14:30

午後の回診など病棟業務

子どもは短時間で状態が変化します。朝と変化があるかな？と適宜会いにいたりします。

16:00

毎週金曜はカンファレンス

入院症例・外来症例含め珍しい症例や相談したい症例を話し合います。すごく勉強になります！

17:00

毎週火曜日は勉強会

火曜日のみ抄読会・専攻医勉強会を開催しています！

* 業務内容

- ・ 病棟業務（入院症例の主治医）
- ・ 点滴当番：週1回
- ・ 時間外当番（予約外受診、午後の紹介受診、救急受診担当）：週1回
- ・ 外来

平均5-7人
くらい！

外来症例もたくさん
経験できます！

専攻医1年目の秋頃：2,3週に1回、専攻医2年目後半-3年目：週1回
循環器外来研修（専攻医3年目の3カ月程度）

- ・ 1か月検診（NICUローテ中の半年間）
- ・ 食物負荷試験・成長ホルモン負荷試験（月1回程度）
- ・ 学生や研修医の指導
- ・ 当直約2~3回/月、日当直1回/月
- ・ 抄読会：2週間毎（発表は約3回/年）
- ・ 専攻医勉強会：2週間毎（発表は約3回/年）
- ・ 学会発表や論文・レポート

もちろん当直や
退院後フォローは
1年目4月から！

長期休暇は多少の増減あり

自分の興味関心のある話題を掘り
下げて共有！みんなで切磋琢磨！

手厚い指導で安心！症例が
なかったり論文が間に合わない
なんてことは全くないです！

* 当院小児科の雰囲気

当科はとにかく雰囲気が良いです！専攻医どうしの距離感も程よく、症例の相談等はもちろん、世間話をしたり、日々仲良く、切磋琢磨しています。業務が多い日に業務が滞ってくると、どこからともなく同期や先輩が現れて、業務負担を軽減してくれたり…

みんなで協力しているため業務の偏りもすくなく、距離感が近すぎず遠すぎず、とても働きやすい環境です！スタッフの先生も皆優しく、教育熱心です。

患者の担当制度は、基本は**主治医を主体とするチーム制+時間外/休日は病棟当直医が回診する**、という制度です。時間外/休日にチームの誰かが来ないといけないという決まりも全くなく、病棟当直医に引継ぎをしておけば休日はしっかり休めますし週末旅行だって行けます。（担当患者さんのことが気になって週末自由にくる分にはもちろんOKです。もちろん、**働きすぎはNG**です！）また、主治医でもっている症例に不安があればチームの先輩や上級医に気軽に相談できます。チーム制のため、症例ごとの上級医をそれぞれ探したり、誰に相談しようかと悩んだりすることはありません！しかしチームの上級医がお休みだったり当直明けだったりすることもあるでしょう…そんなときでも！困ったことがあればチームでなくてもどのスタッフに聞いても、必ず答えてくれます。大体どの先生も、入院しているすべての患者さんの経過をある程度把握しています…！（なかなかすごいことだと思います。）質問に答えてくれなかったり、意地悪したり、威圧してくる人、質問しづらいなと思う人、1人もいません！風通しがよい職場です。

部長（右の写真）は**働き方改革に積極的に取り組んでおり**、やる時はやる、休むときは休む、を徹底しています。仕事中は症例、患者さんと真剣に関わり、そうでない時は休む。**プライベートとも両立しやすく**、皆メリハリをつけて仕事をしています。



当直明けも必ず午後に帰れるように当直で入院した患者もチームの上級医が担当に入ります。当直明け医師には午後は連絡NGの徹底をしています！コメディカルもみんなとても優しく関係良好です！月1回定例会でいかにお互いの業務がよりスムーズに行えるか、話し合っています。

また、女性の専攻医の中には**産休や育休をとったり子育て**をしながら研修をしていたりする先生もいます。**男性も育休を取得**しており、みんなで協力し合おうという暖かい雰囲気です！研修をしっかりと終了できるように毎年の研修状況の確認の面談や論文・レポート作成の指導もとても手厚いです。安心して専攻医生活を送ることができます！

*先輩の声

スタッフ数の厚さ、雰囲気
の良さ、疾患層の幅広さか
ら、当院に決めました。実
際、上級医から適切な援護
を受けながら、主治医とし
て主体的に診療でき、熱心
な同期や気さくに相談でき
る先輩専攻医がいてよかつ
たです。common disease
をたくさん診ながら、専門
性の高い疾患にも携われる、
小児科医を目指す第一歩と
して最も適切な病院・プロ
グラムです！



各専門の先生もいて指導体
制が手厚く、専攻医の仲も
含めて雰囲気が良い病院で
す。1年目を一般小児、2年
目でNICU、整肢学園、3年
目で外病院と多岐に渡る症
例を経験できます。サブス
ペシャリティーにしたい科
の専門医もいる点も、魅力
的でした。



外部で初期研修を行い専攻
医から当院小児科で研修を
開始しました。外からで大
丈夫だろうか、という不安
を持っているそのあなた！！
安心してください、
上級医も先輩も本当に優し
く何でも教えてくれて全く
困ることはありませんでした！
当院を選んで本当によ
かったです！！



*給料

令和6年度年額平均
(通勤手当・住居手当・
時間外手当・当直手当を含む)

卒後3年次：7,730,000円

卒後4年次：7,990,000円

卒後5年次：8,130,000円

当院での専門研修、本当におすすめです！
病院見学、いつでもお待ちしております！

一言で言うなら理想の専門
研修プログラムです。
研修医や専攻医になる時に
誰しも「ある程度は自分1
人でできるようになりたい」
という気持ちと「何も
分かっていない状態で1人
でやるのは不安」という気
持ちが両立しており両者の
バランスを保つのが難しい
と感じる人も多いと思いま
す。当院のプログラムはその
バランスが非常に良いで
す。上級医への相談がしや
すくバックアップ体制が
整った中で研鑽を積めるの
で安心感を持って幅広く自
分自身の力を伸ばす専門研
修ができるのでとてもオス
スメです。



当院小児科の強みはアレル
ギー、血液腫瘍などの各サ
ブスペシャリティーを専門
とした指導医がいる体制で
ありながら症例やチームは各
専門分野に細分化はされて
おらず、横断的に様々な疾
患を経験できる点だと考え
ています。どの指導医も非
常に相談しやすく、チーム
の垣根を感じることもあり
ません。専攻医同士でも気
軽に議論を交わしたり、そ
れぞれの興味のあること
について勉強会を行ったり
して切磋琢磨できる環境だ
と思います。ぜひ、一度見学
にいらしてください！



クリスマス
回診。
もちろん部
長がサンタ
です！